



福岡市陸上競技協会

【設立年月日】

1946（昭21）年（福岡ACとして設立）

【加盟年月日】

1962（昭37）年

【歴代会長】

1963（昭38）年 佐藤 篤二郎

1964（昭39）年 橋岡 八郎

1983（昭58）年 関 克敏

1995（平 7）年 古賀 圭二

2003（平15）年 南原 茂

【歴代理事長】

1963（昭38）年 西田 広・葦原 義孝

1973（昭48）年 小堀 栄

1975（昭50）年 渡辺 忍

1988（昭63）年 徳丸 弘

1999（平11）年 波左間 宏

2001（平13）年 瀬口 俊光

2011（平23）年 小藤 昭

2021（令 3）年 樋口 康夫

【沿革】

福岡市陸上競技協会は、1946（昭21）年福岡市近郊の陸上愛好者で福岡AC（福岡アスレチッククラブ）として発足しました。1960（昭35）年規約改正などを整理し、1962（昭37）年福岡市体育協会設立と同時に福岡ACから福岡市陸上競技協会に改称しました。発足当時の役員は、岡部平太（平和台の命名者）、檜崎正雄の両雄で、1948（昭23）年第3回国民体育大会開催にあたり国体式典開催委員長として活躍された業績は今も語り継がれています。

2019（令和）年6月27日～30日にかけて第103回日本陸上競技選手権大会が博多の森陸上競技場で開催されました。福岡で初となるこの大会では、100Mで9秒代の記録を持つサニブラウン・ハキーム選手や桐生祥秀選手の外、400Mリレーのリオ五輪の銀メダルメンバーが出場し大いに盛り上がり、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大

会の準備大会として成功を収めました。

マラソン競技は以前、厳しい制限時間が設けられ気楽に参加しにくい競技でしたが、福岡市でも誰もが完走できるような大規模な市民マラソンの開催を求める声が大きく、2014（平26年）11月、第1回福岡マラソン大会が開催されました。現在、13,000名を超えるランナーが参加する秋の一大イベントとなっています。

【現在の活動】

- ①福岡市民総合スポーツ大会兼福岡市民陸上競技大会（主催）6月
参加者約3,000名
- ②福岡市障がい者スポーツ大会（陸上競技）（主管）10月 参加者約500名
- ③福岡市民総合スポーツ大会兼博多の森カーニバル（主催）10月
参加者約3,000名
- ④福岡マラソン（運営協力）11月
参加者約13,000名
- ⑤福岡市陸上教室（主催）11月
参加者約500名
- ⑥海の中道市民クロスカントリー大会（主管）参加者約1,000名
- ⑦平和台ジュニアクラブ（主催）
毎月1回 会員約200名
- ⑧福岡市障がい者陸上教室（協力）
年8回 指導者派遣



障がい者陸上教室